3・25狭山異議申し立て棄却

決死糾弾

- ⧗ 狭山差別裁判徹底糾弾!! 再審貫徹・石川氏実力奪還
- ⧗ 融和主義粉砕、部落解放・日帝打倒!!
- ⧗ 反革命差別主義集団カクマルせん滅!!

緊急声明

マルクス主義学生同盟
中核派・京大支部

全ての学友諸君。!

3月25日、日本帝国主義＝東京高裁新関は、完全無実の部落青年石川一雄氏に対して狭山差別裁判再審棄却への異議申し立てに対する棄却という、天人共に許すべからざるムキ出しの差別的反革命的暴挙に撃って出た。

我が中核派は、煮えたぎる怒りと、血債を真に果たしきる階級的原点にかけて、この攻撃を徹底的に糾弾し、必ずやこれを爆砕し、石川一雄氏奪還の日まで闘って闘って闘いぬく事を宣言する。

その為に第1に、この異議申し立て棄却の攻撃が、石川氏無実を完璧に立証しぬいている9項にわたる事実問題のことごとくを抹殺し、2・7再審棄却決定護持のみに貫かれた暗黒の攻撃である事を徹底的に明らかにする必要がある。

中核派

[illegible]し、その「すべて理由がなく、2・7決定は正当」と言い放っている。一片の真実も正義性もない、真実をこそ何より恐れる日帝の反動的正体をあえて自己暴露してかけられてきた、反階級的差別的憎悪ムキ出しの歴史的大暴挙と言わなくてはならない。

第2に、今日軍事大国化・改憲に突進せんとする日本帝国主義国家権力による革共同への1・13大謀略弾圧と軌を一にしたこの暴挙は、革命的内戦を貫き…3月ジェット決戦の歴史的勝利を戦取した闘い、その最先頭に立って闘っている戦闘的革命的部落解放運動、三里塚と狭山の奥深い強固な結合の発展に対する恐怖にかられた絶望的反革命的挑戦に他ならない。

一片の真実もないこの暴挙は、階級闘争と解放運動の革命的前進をあえて真正面から叩きつぶさんとする日帝のすさまじい階級的意志の現われに他ならない。

第3に、現代のナチス＝極悪差別主義集団・カクマルの、3・25攻撃と軌を一にした新たな狭山闘争破壊を断じて許さず、先制的な革命的暴力で、狭山の勝利と日帝打倒にかけてこれをたたきふせてやらなくてはいけない。

一体ファシスト・カクマルはこの10年間、狭山闘争と石川氏に対して何を言い何を行ってきたのか！「狭山無差別裁判・石川は犯人に酷似」「狭山は労働者の課題ではない」（73年）・「敗北した狭山闘争」「反差別ナンセンス」「解放同盟のバカ供」（74年）・「部落民＝ボロクズ」（75年）をはじめとする差別的罵倒、狭山への『水本』反革命デマの持ち込み策動、奈良女大での部落出身女性へのテロ（70年）、関東部落研襲撃・早大の狭山戦士川口君虐殺（72年）、狭山決戦決起への虐殺・テロ（全逓東京・大阪守口）・解放同盟現闘本部襲撃（74年）・77・78・79年上告棄却に呼応して部落青年への白色テロ策動（福岡），79年部落青年への指名テロ宣言（関大）等々。

70年代から今日まで、狭山闘争は反革命差別主義集[illegible]

な差別主義集団・日帝の先兵カクマル反革命のありとあらゆる襲撃との闘いであった。3・25以後、ますますファシスト的純化を底無しに深めるファシスト・カクマルとの闘いに他ならない。すでに革命的部落青年は〈ファシスト・カクマルせん滅〉の旗をかかげた闘いに起ち上っているのだ。

とりわけ、動労千葉の正義の決起に消耗する動労カクマルが、『小谷』反革命運動を狭山に持ちこもうとしようでもするなら、戦闘的部落青年とわが中核派は全てをかけてこれを粉砕するであろう事をはっきり宣言しておく。

わが中核派は、1・13弾圧を粉砕して切り拓かれている日本階級闘争・革命的共産主義運動の81～83決戦への歴史的地平を堅持し、その力をもって、戦闘的革命的部落解放運動の確固たる抬頭と連帯し、何よりも獄中18年…あくまで不屈に日帝・差別者と闘う石川一雄氏の血叫びに真に応えぬく闘いを展開し、3・25にかけた敵階級の超反動的野望を粉々にうち砕き、再審貫徹、石川氏奪還・部落解放・日帝打倒のその日まで闘いぬくであろう。

全ての学友諸君！ 今こそ心底からの怒りの総決起をもってわが中核派と共に闘わん！